



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 西 谷 雅 之
幹 事 岡 部 倫 正 会報委員長 中 辻 康 裕

Rotary  BE THE INSPIRATION
インスピレーションになろう
2018-2019年度国際ロータリー会長 バリー・ラシン

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2403

2019-2-1

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本 日 の 例 会

2月1日(第1例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
光信(10) 岡本(10) 梅崎(10)
三木(20) 内藤(10) 中谷(10)
井上(10) 三宅(10) 浅井(30)
各会員
- お祝・誕生日
今岡 岩永 永井 奥田 佐々木
鈴木 各会員
・結婚記念日
三木 西村 奥田 佐伯 宇津井
各会員
・会社創立記念日
金山会員
- 卓話 「国際奉仕活動を行うための
“グローバル補助金と地区補助金”
地区国際奉仕委員会 委員 木下基司氏
(村上泰啓国際奉仕委員長担当)
- 理事会 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- クラブフォーラム(国際奉仕)
13:40 ~ 15:00
シェラトン都ホテル大阪 3階 葛城の間

次 週 の お 知 ら せ

2月8日(第2例会)

- 卓話 「私の住宅設計」
小原一真会員
- 情報集会(規定・情報委員会担当)
北新地 アラスカ 本店
TEL.06-6147-7126
- 食膳 〈中国 円卓料理〉

次々週のお知らせ

2月15日(第3例会)

- 卓話 「ロータリーあれこれ Ⅲ」
今井賢二郎会員

先 週 の 記 録

1月25日(第4例会)

- 出席報告
出席会員 34 名(内免除会員 10 名)

会員総数 49 名(同上 17 名)

ゲスト 1 名

ヴィジター 1 名

計 36 名

ホームクラブ出席率 80.95%

1月11日(第2例会) 補正出席率 100%(MU3名)

● ゲスト&ヴィジター(敬称略)

上田 豊(大阪南)

テチアナ・セゾネンコ(米山奨学生)

◆ 会 長 の 時 間 ◆ (前号の続き)

職業奉仕の基本理念は1915年のサンフランシスコ大会でロータリー倫理訓というかたちで表現されることとなりましたが、残念なことに条文の中にマタイ伝から引用された文章があり、宗教色が強いという点が問題となって1951年にロータリーのあらゆる文書から姿を消すことになりました。宗教的問題だけでなく、その内容の厳しさも批判の対象となりました。特に、その第6条「自分の同業者よりも同等またはそれに優る完全なサービスをすることを心がけて、事業を行うこと。やり方に疑いがある場合は、負担や義務の厳密な範囲を越えて、サービスを付け加えること」の内容を厳密に解釈すれば、販売した商品については、永久にアフターサービスの責任を取らねばならず、現実の問題として実行不可能であるという批判が多くなされたのです。ただ、宗教的な問題を除けば、この倫理訓がロータリーの高い理想を表現していることは間違いなく、「最近、問題となっている製造物責任法(PL法)は、この考え方に基づいた法律であり、これを1915年に発案したロータリーの職業奉仕理念の素晴らしさを改めて賞賛すると共に、この道徳律が、現在にも通用する優れた倫理基準であることを再確認すべきではないでしょうか」という第2680地区PG田中毅氏の意見は重要な指摘であると思われます。

◆ 委 員 会 報 告 ◆

RAC創設準備委員会 委員長 中尾吉計
1月23日(水)入会予定者との3回目の打ち合わせを行いました。現在13名が入会予定です。

当日は今後の予定、日程調整を行いました。終了後は、予定者だけの懇親会で非常に盛り上がったとの

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

ことです。2月に設立申請を行います。5月の50周年式典日の式典前に設立式を行う予定です。

15名入会にあと2名。皆様の協力をお願い致します。

◆ 3分間スピーチ ◆



「研究について」

米山奨学生

テチアナ・セゾネンコさん

卓 話

1月25日 <第4例会>

「私の習ったロータリー」



光信昌明会員

我が国にはクラブと名の付くものが無数にあります。会員組織の社交クラブや、サービス・クラブと称せられるものも数多くあります。ライオンズクラブ、キワニスクラブなどあります。けれども、われわれ

のロータリークラブはこれらの諸クラブと根本的に異なる点があります。それは、ただ単に一番古い、あるいはまた、最も有名だ、ということではありません。異なるのは、ヴォケーショナル・サービスを目的としたクラブであるという点です。「ロータリーの綱領」に「ロータリーの目的は有益な企業の根底にサービスの理想を培うに在る」と明記してある。これがただ一つのロータリーの目的です。そもそもロータリークラブの会員が職業分類という制度によって構成されていることは、職域のサービスが要求されるのと表裏一体の関係なのです。この独特な組織をもち、ヴォケーショナル、青少年・サービスを根幹とする団体は他にありません。ポール・ハリスと3人の友人によって植えられた苗木は、今日巨木に成長し、一大サービス・クラブとなりました。大樹は自然に大枝小枝を派生しました。社会サービス、国際サービス、青少年サービスなどがこれです。ところが、近年この根幹を忘れがちになったのはどうしたわけでしょうか。如何に枝葉のサービスに力をいれておっても、根元にもしも空洞ができて、巨木が弱体になるようなことがあったら、大枝、小枝も自然と活力を失って、台風の襲来でロータリーという名木も、一夜にして倒壊する恐れなしとはいえないでしょう。奉仕というと、自分の財産、あるいは時間、もしくは労力を犠牲にして、第三者のために良いことをする意味にとられます。その行為によって利益を得たり、報酬を貰ったりすれば、それはもう奉仕ではないと考えられます。ところが、ロータリーでいう社会職業奉仕とは、

ロータリーソングで、he profits most who serves the bestと歌うように適正な利潤を得て自分の職業を通じて社会のために尽くすことです。この職業を通じて社会のために尽くす職業奉仕とは何か、と更に追求すると、これすなわち、自分の職業を成功させることになります。



▲ (1月18日例会) 米山選考委員委嘱状
左から金山会員・西谷会長・岡部(倫)会員



▲ (1月18日例会)
左からロータリー財団100%「ロータリー財団寄付」
クラブバナー・End Polio Now感謝状
米山奨学金6,000万円達成クラブ表彰状

にこにこ箱

1月25日 (第4例会)

- RACのメンバー現在13名です。皆様ご協力お願い致します。 浅井会員・三宅会員
- 他、祝い等 5件

1月ニコニコ合計 400,376円
ハット合計 35,000円

◆ チャレンジ100 ◆

各月の最終例会日は、全会員に出席を求める「チャレンジ100」の日です。

I miss you.

藤田、濱田、今井、宮田、永井、西谷、小原、尾崎(敬)、
上、梅崎、山本(智) 各会員

(編集担当 金山・中辻)

会員増強にご協力を!!